スーパーファミコン®
SHVC-2B

SUPER Famicom
LICENSED BY NINTENDO

SUPER 将棋2
スーパーしょうぎ2



SUPER Famicom
スーパーファミコンマウス対応

取扱説明書（とりあつかいせつめいしょ）

I'MAX

【はじめに】

このたびはアイマックスのスーパーファミコン用ソフト「スーパー将棋2」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用法でご愛用ください。

なお、この「取扱説明書」は保証書付きですので、大切に保管してください。

〈使用上のご注意〉

- ご使用後はACアダプタをコンセントから必ず抜いておいてください。
- テレビ画面からできるだけ離れてゲームをしてください。
- 長時間ゲームをする時は、健康のため、1時間ないし2時間ごとに10分〜15分の小休止をしてください。
- 精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や、保管及び強いショックを避けてください。また絶対に分解しないでください。
- 端子部に手を触れたり、水に濡らすなど、汚さないようにしてください。故障の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発油で拭かないでください。
- スーパーファミコンをプロジェクションテレビ（スクリーン投影方式のテレビ）に接続すると、残像現象（画面ヤケ）が生ずるため、接続しないでください。

〈健康上の安全に関するご注意〉

疲れた状態や、連続して長時間にわたるプレイは、健康上好ましくありませんので避けてください。また、ごく稀に、強い光の刺激や、点滅を受けたり、テレビ画面等を見たりしている時に、一時的に筋肉のけいれんや、意識の喪失等の症状を経験する人がいます。こうした症状を経験した人は、テレビゲームをする前に必ず医師と相談してください。また、テレビゲームをしていて、このような症状が起きた場合には、ゲームを止め、医師の診察を受けてください。

《もくじ》

コントローラとスーパーファミ

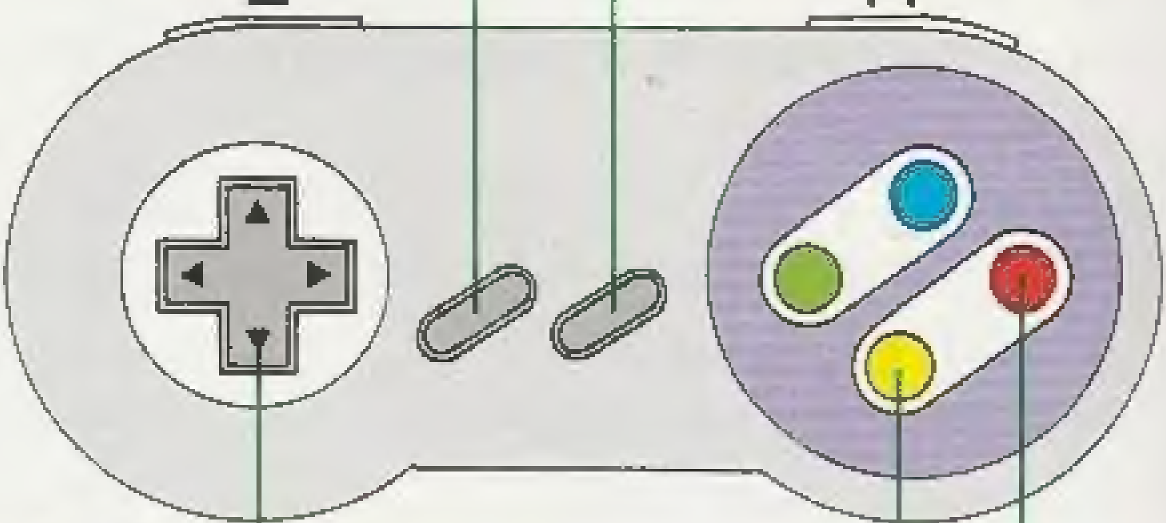
●「スーパー将棋2」ではスーパーファミコン専用コントローラ(以下コントローラ)のほかにスーパーファミコンマウス(以下マウス)を使うことができます。

コントローラの使い方

SELECT

START
●対局中、ウィンドウを出す

L　R



✚字ボタン
●カーソルや駒の移動

Bボタン
●キャンセル
●駒をはなす
●カーソルを駒台へ移動

Aボタン
●決定
●駒をつかむ
●駒を置く

X, Y, L, R, SELECTは使用しません。

マウスの使い方



左ボタン
●決定
●駒をつかむ
●駒を置く

右ボタン
●キャンセル
●駒をはなす
●対局中、ウィンドウを出す

マウス本体
●カーソルの移動

※スーパーファミコンマウスは別売りです。

コンマウスの使い方

コントローラおよびマウスの接続の仕方

★ひとりで遊ぶとき

●コントローラまたはマウスをスーパーファミコン本体の **前面左側** のコントローラコネクタ1に接続してください。

★ふたりで遊ぶとき

◆対局相手の選択⇨12ページへ

●コントローラまたはマウスをスーパーファミコン本体前面のコントローラコネクタ1およびコントローラコネクタ2に接続してください。(コネクタ1と2両方に接続しないと遊べません)

●コントローラとマウスは併用できます。

●対局中の駒を動かす、またはメニュー内での操作以外の操作(遊び方の選択、対局条件設定の変更など)は、コントローラコネクタ1の側で行います。

§どちらが先手(上手)、後手(下手)?§

コントローラコネクタ1の側 ⇨ 先手、または上手(以下プレイヤー1)

コントローラコネクタ2の側 ⇨ 後手、または下手(以下プレイヤー2)

ボタン操作表示について

「スーパー将棋2」では、下のようなボタン操作表示により、操作方法をガイドしています。

●コントローラ使用のとき

Aボタンを押します。

Bボタンを押します。

STARTボタンを押します。

●マウス使用のとき

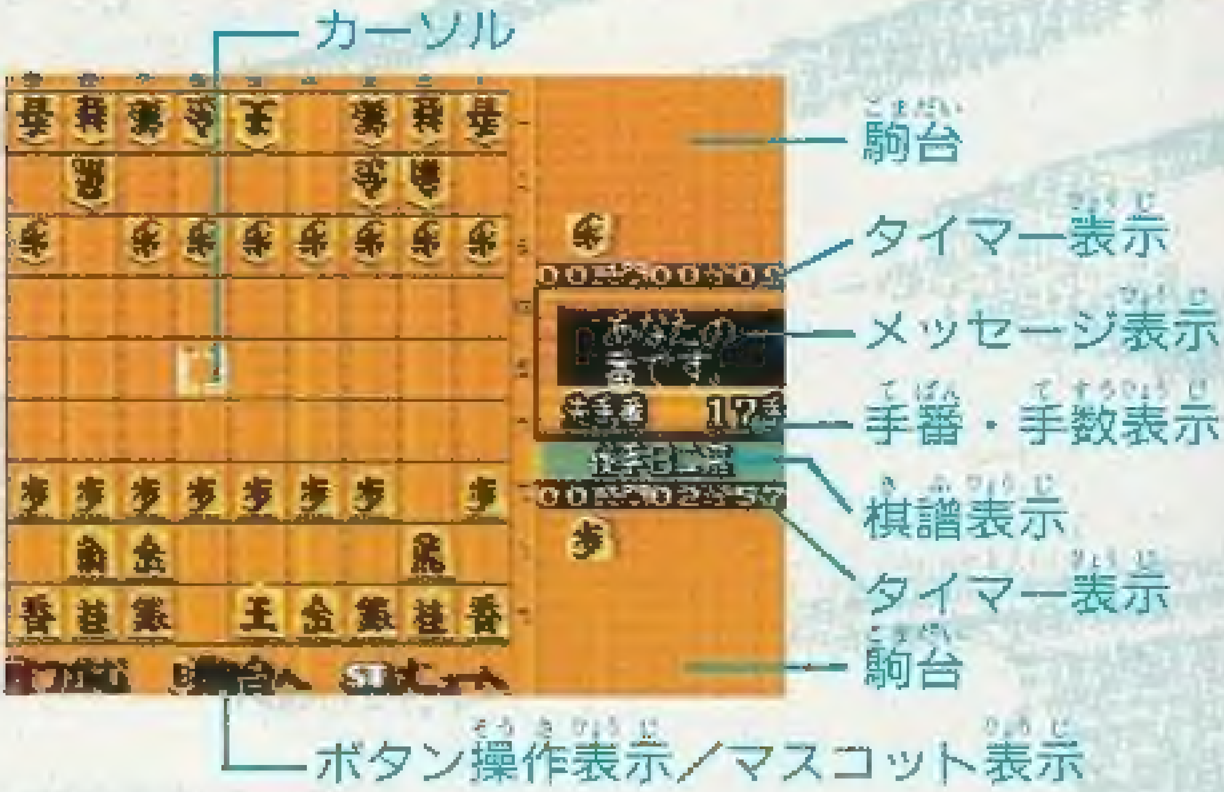
左ボタンを押します。

右ボタンを押します。

将棋盤での操作の仕方

「スーパー将棋2」には「対局」「将棋番付」「将棋全国選手権」の3つの遊び方があり、遊び方はそれぞれ異なっていますが、将棋盤での操作の仕方は共通です。

将棋盤の見方



◆ボタン操作表示⇨ 4ページへ

◆マスコット表示：コンピュータの思考中に表示されます。



「各種設定」モードで、表示のある・なしを選択できます。
(32ページをご覧ください)

●将棋盤はコンピュータと対局するときは、平手でも駒落ちでも画面下側がプレイヤーの陣地となります。

●ふたりで遊ぶ場合は、先手または上手(コントローラ 1)が画面下側、後手または下手(コントローラ 2)が画面上側となります。

●将棋盤は上下を反転させることができます。

◆盤反転 ⇨ 13, 22, 30ページへ

駒の動かし方

1.駒をつかみます。(コントローラ⇨Aボタン・マウス⇨左ボタン)

カーソル(コントローラ使用のとき⇨[　]・マウス使用のとき⇨　)を✚字ボタン(マウス本体)で動かしたい駒の上に移動させます。
そこでAボタン(マウス左ボタン)を押すと駒をつかみ、移動させることができます。

2.駒をはなします。(コントローラ⇨Bボタン・マウス⇨右ボタン)

駒をつかんだ状態でBボタン(マウス右ボタン)を押すと、つかんだ駒をはなし、駒はもとの位置にもどります。

3.駒を置きます。(コントローラ⇨Aボタン・マウス⇨左ボタン)

つかんだ駒を移動させ、Aボタン(マウス左ボタン)を押すと、駒を置きます。

4.駒台の駒を取ります。(コントローラ⇨Bボタン・マウス⇨本体の移動)

駒を打つ場合は、Bボタンを押すと、カーソルが駒台に移動します。
マウスの場合はカーソルを駒台まで動かしてください。
✚字ボタン(マウス本体)で駒を選び、Aボタン(マウス左ボタン)でつかみます。

●「成り」「不成」――――



「成り」「不成」選択表示

駒が敵陣に入りこんだり、敵陣に打った駒を動かすと、その駒は「成る」ことができます。(王と金を除く)

駒を置いた時点で左の図のような表示が出ます。

「成り」「不成」いずれかを選び、Aボタンで決定します。

マウスの場合は、カーソルを表示部分まで移動させ、「成り」「不成」いずれかの上で左ボタンを押し、決定します。

ゲームの始め方

スーパーファミコン本体に「スーパー将棋2」のカセットを正しく差し込み、電源スイッチをONにしてください。



タイトル画面

1.「I'MAX PRESENTS」と出たあとに、左のような「タイトル画面」が出ます。



モード選択画面

2.「タイトル画面」でA, B, またはSTARTボタン(マウス左または右ボタン)を押すと、「モード選択画面」に変わります。
カーソルを合わせてAボタン(マウス左ボタン)を押すと、選択したモードの画面に移ります。

「モード選択画面」で「対局」「将棋番付」「将棋全国選手権」の3つの遊び方と「各種設定」を選びます。

「対局」 モード⇨ 9～18ページ

コンピュータまたは、人間対人間で対局できるモードです。

「将棋番付」 モード⇨ 19～24ページ

コンピュータと5回戦をし、その結果によって、相撲の番付で現わされたプレイヤーのレベルが昇降格します。

「将棋全国選手権」 モード⇨ 25～31ページ

全国47都道府県から地区予選・全国大会を勝ち進み、日本一の座を目指す、トーナメント形式の対局モードです。

「各種設定」 モード⇨ 32～33ページ

駒の種類を選択したり、音楽、棋譜の読みあげのありなしなどを設定できます。

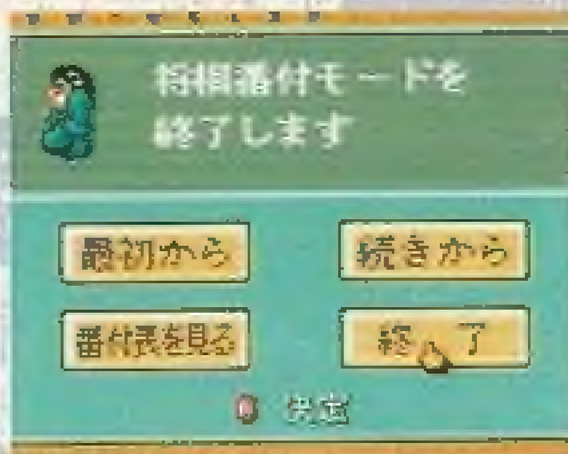
ゲームを終了するとき

ゲームを終了するときは、各モードの下のような画面で「終了」を選択し、「モード選択画面」に戻してから、電源スイッチを切ってください。

※任意の画面で電源スイッチを切ると、保存した棋譜などのデータが消えてしまう恐れがありますので、ご注意ください。



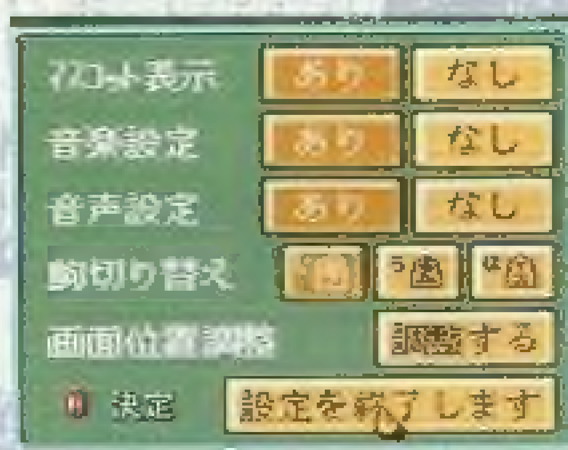
「対局」モード



「将棋番付」モード



「将棋全国選手権」モード



「各種設定」モード

バッテリーバックアップ機能について

本ソフトは、バッテリーバックアップ機能付きです。

バッテリーバックアップとは(本ソフトで)将棋の棋譜などの途中経過を記録・保存できる機能のことです。

むやみに電源スイッチやリセットボタンのON/OFFをすると、保存した内容が消えてしまうことがありますので、ご注意ください。

記録・保存できる内容は各遊び方によって異なっています。詳しくは、各遊び方の説明をご覧ください。

3つのモードの遊び方

対局モード

「対局」モードは、コンピュータを相手に将棋を指すモードです。

対局の条件を変えることができますので、お好みや実力に合わせて設定してください。

「対局相手」を「人間」にすればお友だちとふたりで遊ぶこともできます。



モード選択画面

1.「モード選択画面」で「対局」にカーソルを合わせ、Aボタン（マウス左ボタン）を押してください。
「対局」モードに入ります。



「対局」モード開始メニュー画面

2.続いて「最初から」と「終了」が表示されます。
保存された棋譜がある場合は「続きから」という表示が加わります。
カーソルを合わせ、Aボタン（マウス左ボタン）を押してください。

最初から ……初手から対局する場合に選びます。（10ページへ）

続きから ……保存した棋譜を再現する場合に選びます。棋譜を保存していないと表示されません。（17ページへ）

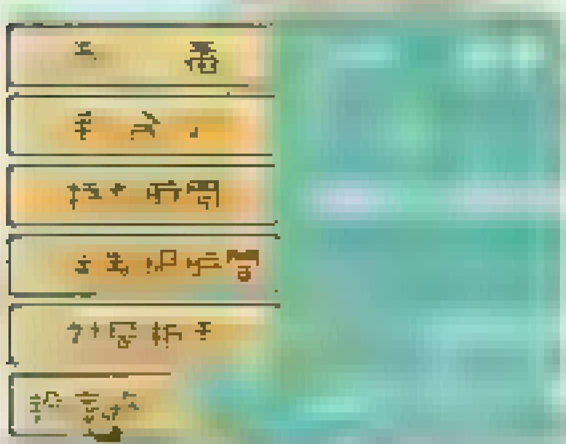
終　了 ……「モード選択画面」に戻ります。

最初から を選びます

対局条件を設定して、初手から対局します。

1. 対局条件の設定画面に移ります。

※「続きから」または「終了」を選び直したい場合は、Bボタン（マウス右ボタン）を押してください。画面がひとつ前にもどります。



対局条件設定画面

◆対局の初期条件

手番　プレイヤーの先手

手合い　平手

持ち時間　無制限 [illegible]

一手制限時間　なし

対局相手　コンピュータ [illegible]

2. 初期条件を変えたい場合は、変更したい設定項目にカーソルを合わせて、Aボタン（マウス左ボタン）を押してください。

◆対局条件の設定　11ページ

3. 対局条件の設定が終わったら、「設定終了」にカーソルを合わせて、Aボタン（マウス左ボタン）を押してください。

4. 将棋盤に画面が変わり、「対局開始」と出ます。Aボタン（マウス左ボタン）を押すと、対局開始です。

◆将棋盤での操作⇨6ページ

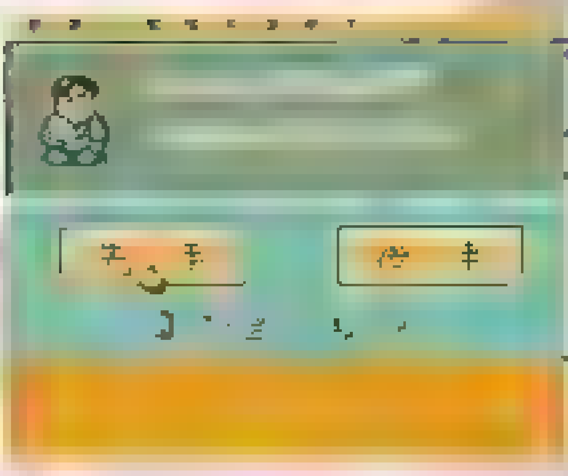
▶対局条件を設定します

「最初から」対局する前に、対局条件を設定します。

●「対局条件設定画面」で変更したい項目を選択すると、それぞれ以下のような画面に切り替わります。

●設定が終わったら、「対局条件設定画面」の最下段にある「設定終了」にカーソルを合わせ、Aボタン（マウス左ボタン）を押してください。対局が開始されます。

対局条件設定の内容



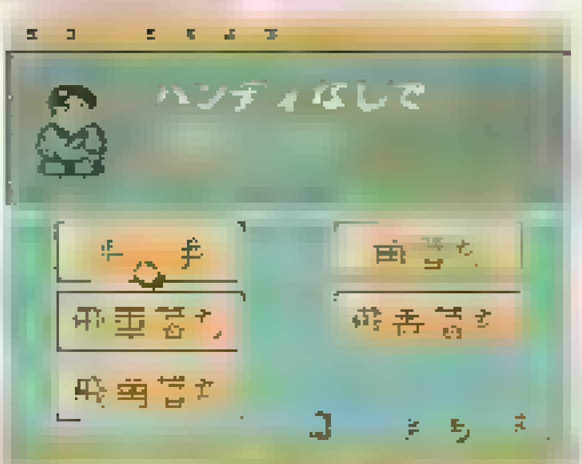
手番設定画面

手番

先手・後手を選択します。

◆ふたりで対局する場合は、コントローラ1が先手、コントローラ2が後手となります。

◆駒落ち対局の場合は、自動的にプレイヤー（ふたり対局ではプレイヤー1）の上手となり、設定はできません。



手合い設定画面

手合い

対局のスタイルを設定します。

◆駒落ち対局は、コンピュータ相手の場合は、プレイヤーが上手となります。

◆ふたりで駒落ち対局する場合は、プレイヤー1が上手、プレイヤー2が下手となります。

■平手　　ハンディなしで対局します。
■角落ち　　上手が角行なしで対局します。
■飛車落ち　上手が飛車なしで対局します。
■飛香落ち　上手が飛車と香車なしで対局します。
■飛角落ち　上手が飛車、角行なしで対局します。



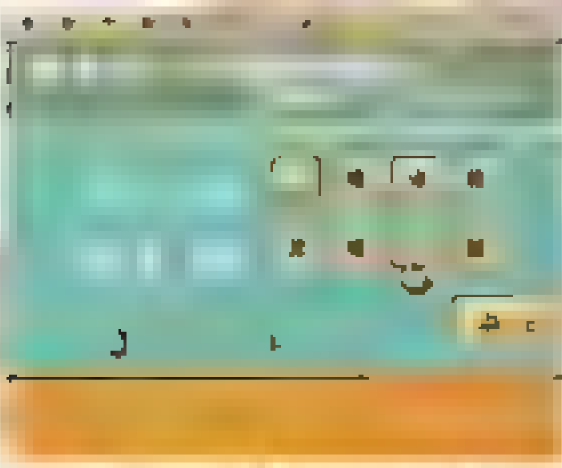
[illegible]設定画面

● [illegible]

対局する上での先手・後手それぞれの持ち時間を設定します。設定したら、「決定」を選んでください。

◆持ち時間がなくなると、設定した一手制限時間内に指さなければなりません。

- ■ 0分　持ち時間なしで、設定した一手[illegible]します。
- ■ 10～120分　持ち時間を消化するまでは、[illegible]ることができます。
- ■ 無制限　持ち時間を[illegible]。一手制限時間もなしの設定です。



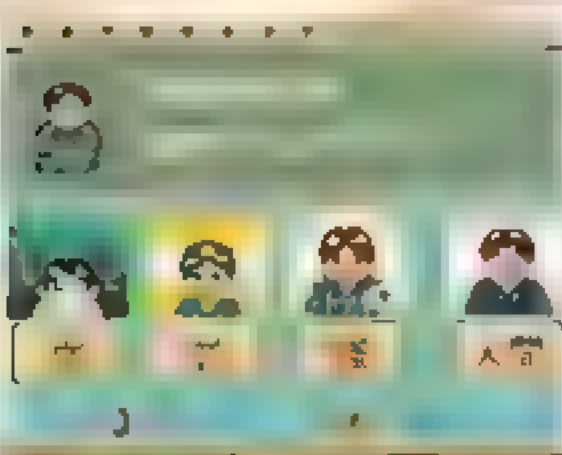
一手[illegible]画面

● [illegible]

持ち時間がなくなったあとに課せられる一手制限時間を、先手・後手それぞれ設定します。設定したら「決定」を選んでください。

◆一手制限時間内に指さない場合、プレイヤーは「時間切れ」で負けとなります。

◆持ち時間を無制限にした場合は、設定できません。



対局[illegible]画面

● 対局相手

コンピュータの強さを設定します。

「人間」を選択するとふたりで対局することができます。

◆コンピュータの強さはコンピュータ側に設定した持ち時間や一手制限時間によっても、

大きく変わります。

持ち時間はなしより無制限、一手制限時間を30秒より60秒に設定したほうが、より強さを発揮することができます。

▶対局中のメニューについて

対局中に「対局再開」「盤反転」「対局中断」「待った」「次の一手」「投了」を行います。



対局メニュー画面

対局中(自分の手番のとき)にSTARTボタン(マウス右ボタン)を押すと、左のような「メニュー画面」が表示されます。

目的の項目にカーソルを合わせ、Aボタン(マウス左ボタン)で決定します。

※STARTボタン(マウス右ボタン)を押すと、将棋盤に戻ります。

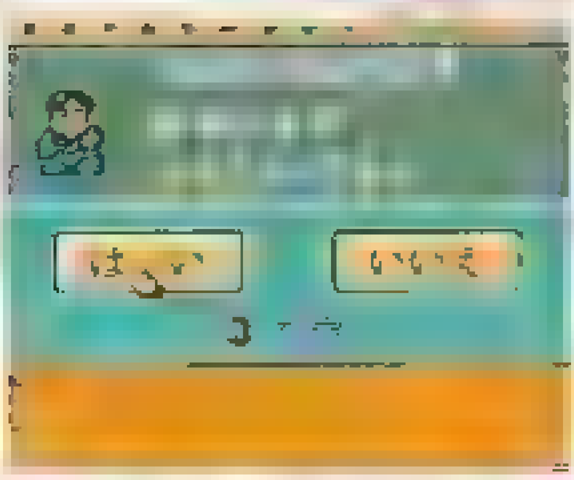
対局メニューの内容

●対局再開　対局へ戻ります。

●盤反転　盤の向きを上下反対にします。

●対局中断　対局を中断します。
中断した対局は保存して、次回に続きから指すことができます。

◆「続きから」の対局　17ページ



保存の選択画面

1.左のような画面になります。
カーソルを「はい」か「いいえ」に合わせてAボタン(マウス左ボタン)で決定してください。

※ふたりで対局している場合は、プレイヤー1のほうで操作します。

2.「いいえ」を選ぶと、「開始メニュー画面」に戻ります。
3「はい」を選ぶと、棋譜保存の操作に入ります。
◆棋譜保存の方法 16ページ

●待った　対局の途中で手を戻し、戻したところから対局を再開します。



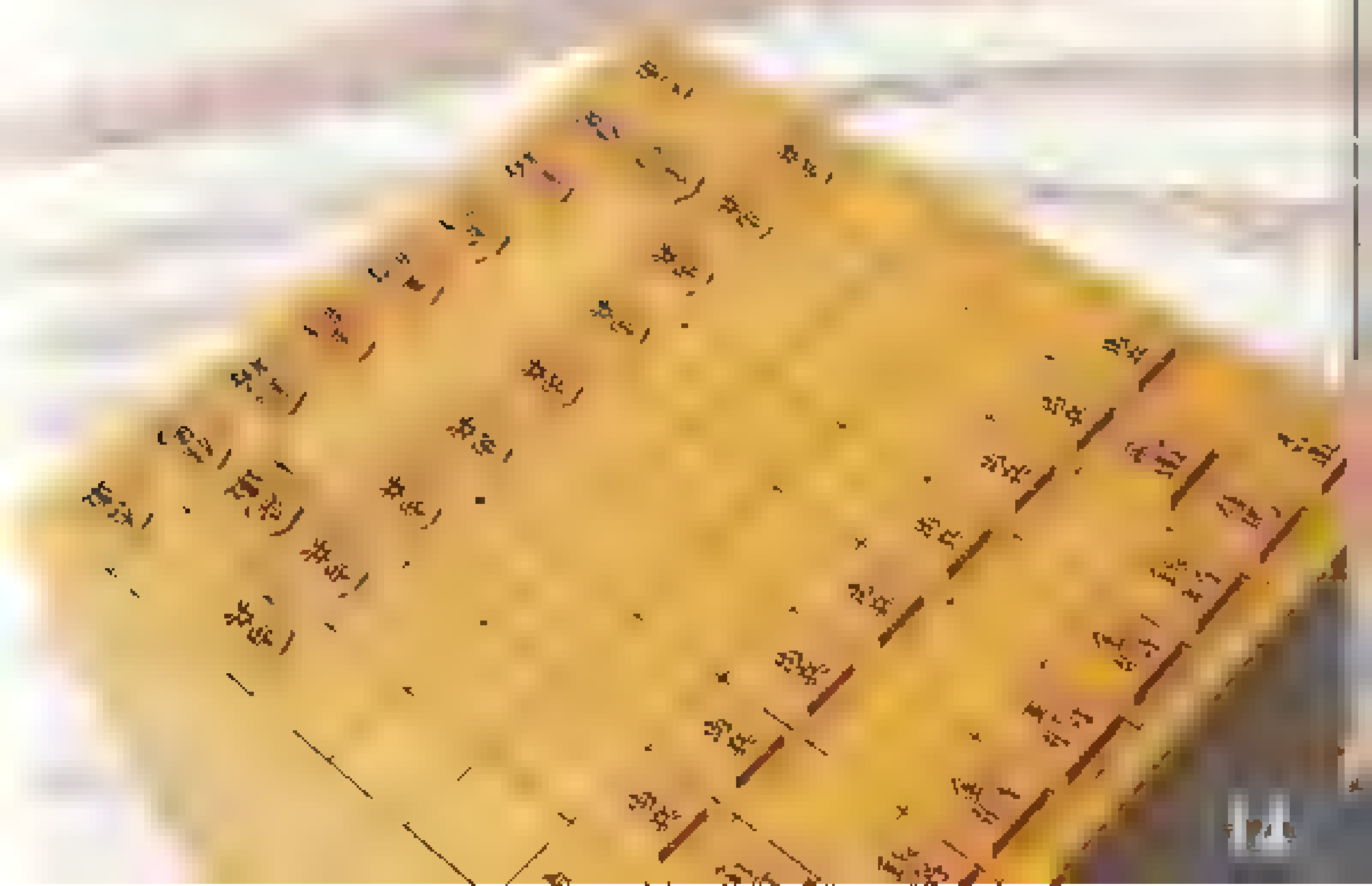
「待った」画面

二手戻る　盤面が二手戻ります
二手進む　戻した手を進めます
Bボタン(マウス右ボタン)を押すと、対局を再開します。

●次の一手　コンピュータの考えた「次の一手」を表示します。

Aボタン(マウス左ボタン)を押すと、対局を再開します。

●[illegible]　負けを認めて、対局を終わらせます
続いて棋譜の保存の操作に移ります。
◆棋譜保存の方法 16ページ



▶対局の終了と棋譜の保存

：対局を終了し、棋譜保存の操作に移ります。

対局の終了

以下のような場合、将棋盤での操作は終了し、続いて棋譜保存の操作に移ります。

①詰み

どちらかが相手を詰ますと、対局終了です。

A，B，またはSTARTボタン（マウス左、または右ボタン）を押すと次の画面に移ります。

②投了

「対局メニュー」から「投了」を選択します。

◆「投了」の方法　：14ページ

「投了」を選ぶと「負け」となります。

③引き分け

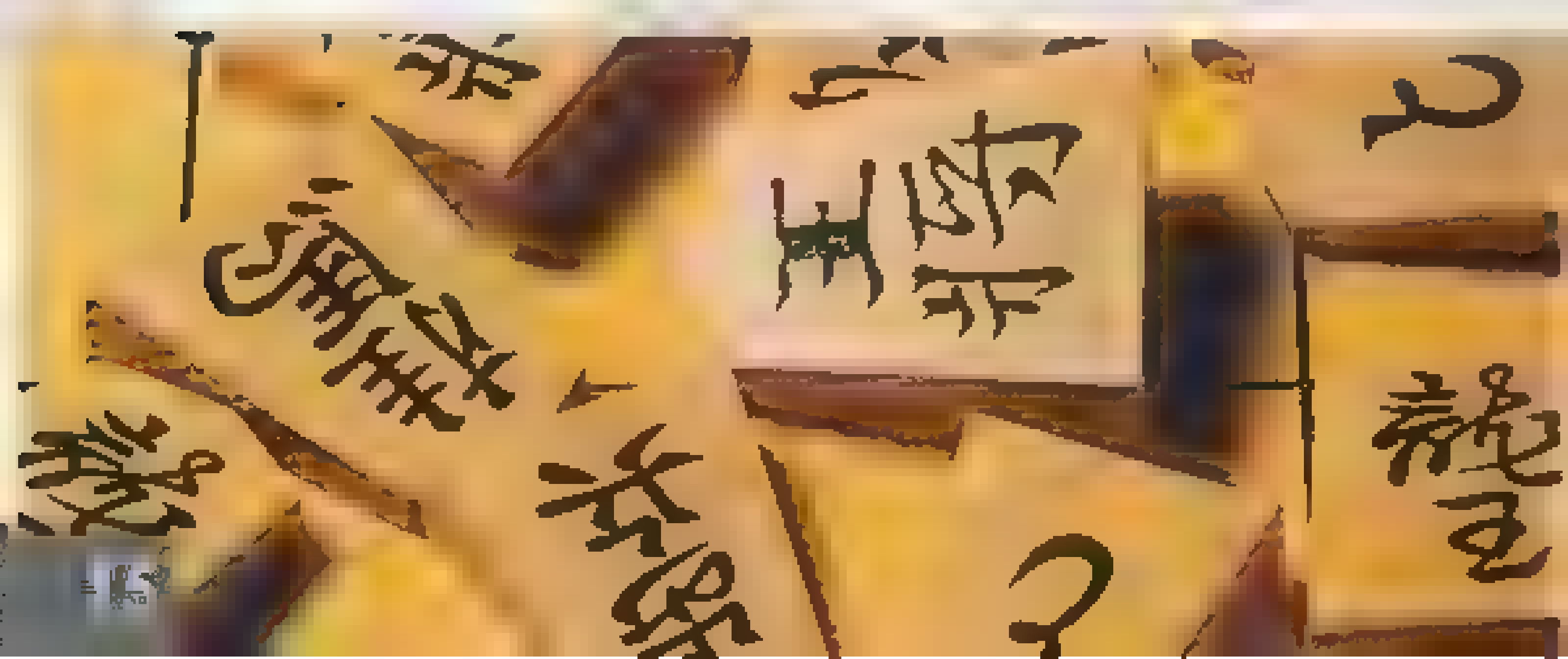
「スーパー将棋2」では、300手で「引き分け」となり、対局終了となります。

④中断

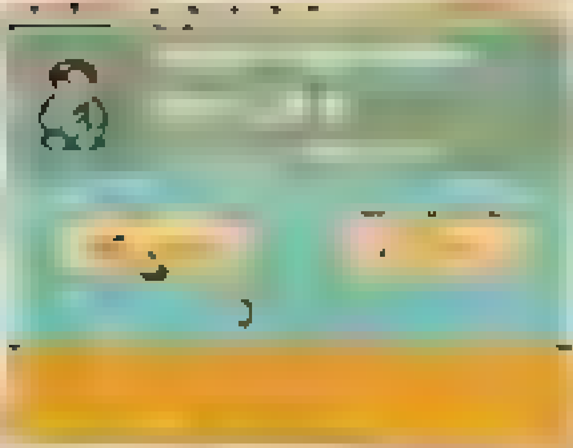
「対局メニュー」から「対局中断」を選択します。

◆「対局中断」の方法　：13ページ

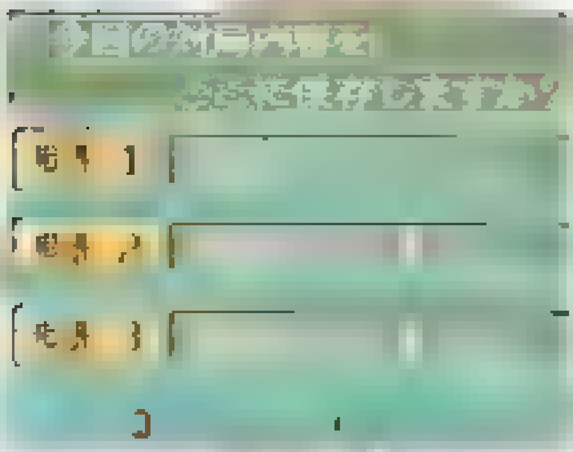
「対局中断」に続いて棋譜保存をすれば、中断したところから対局を再開することができます。



棋譜保存の方法


保存の選択画面

1. 左のような画面が出ます。
「はい」か「いいえ」にカーソルを合わせてAボタン（マウス左ボタン）で決定してください。
「いいえ」を選択すると、「開始メニュー画面」に戻ります。


棋譜選択画面

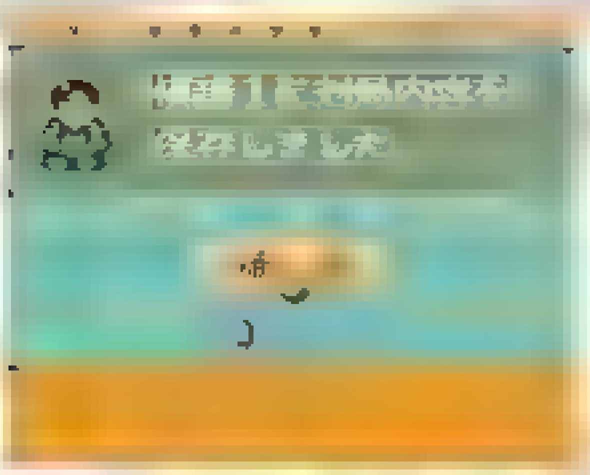
2. 保存する場所を選択します。
棋譜は3つまで保存できます。
「棋譜1」～「棋譜3」のいずれかにカーソルを合わせてAボタン（マウス左ボタン）を押してください。

※棋譜保存をしない場合は、Bボタン（マウス右ボタン）でひとつ前の画面に戻ります。


上書きの確認画面

3. あらかじめ棋譜が保存されている場所を選ぶ場合には、左のように上書き（保存されている棋譜を消し、新しい棋譜を保存すること）してよいかどうかの確認があります。
上書きしてよければ、「はい」を選択してください。

「いいえ」を選ぶか、Bボタン（マウス右ボタン）で「棋譜選択画面」に戻ります。


棋譜保存の確認画面

4. 保存する場所が決まったら、保存の確認をします。
棋譜保存の操作は以上で終わりです。
「開始メニュー画面」に戻ります。

続きから を選びます

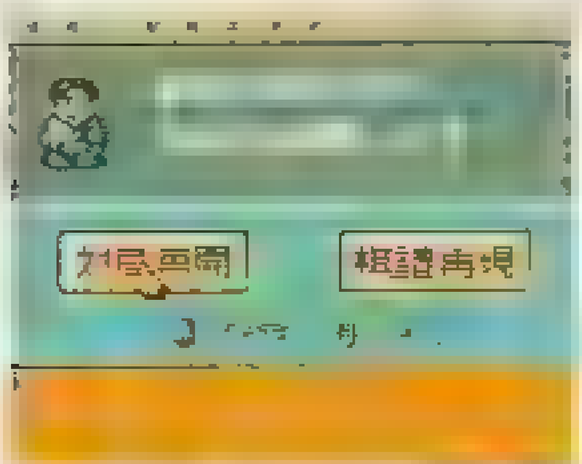
保存した棋譜を再現し、中断した対局を再開します。



棋譜の選択画面

1. 保存した棋譜の選択画面に移ります。
   ※「最初から」または「終了」を選び直したい場合は、Bボタン（マウス右ボタン）を押してください。画面がひとつ前に戻ります。

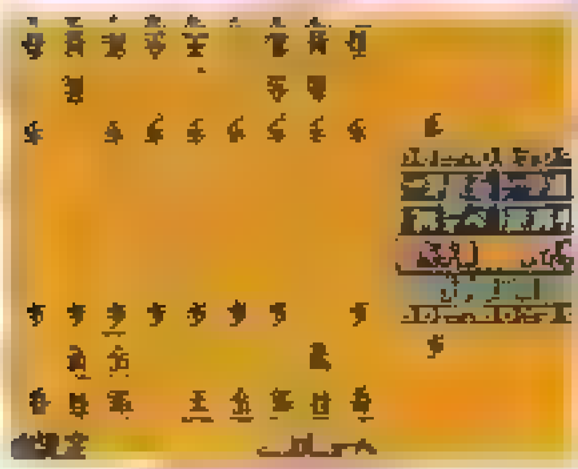
2. 棋譜1〜3を選択します。
   カーソルを合わせてAボタン（マウス左ボタン）で決定します。
   ※「棋譜がありません」と表示されているところには、カーソルが移動しません。



「対局再開」「棋譜再現」選択画面

3. 「対局再開」か「棋譜再現」を選びます。
   ※この画面でBボタン（マウス右ボタン）を押すと、「棋譜選択画面」に戻り、棋譜を選び直すことができます。

4. 「対局再開」を選ぶと、中断した対局を続きから始めます。
   ※選択した棋譜が「終局」している場合は、「対局再開」を選ぶことができません。
   ただし、以下の方法で再開することができます。
   - どちらかが詰んで「終局」した棋譜
     「棋譜再現」で手を戻してから、メニューの「対局再開」を選ぶ。
   - 「投了」により「終局」した棋譜
     「棋譜再現」のメニューで「対局再開」を選ぶ。

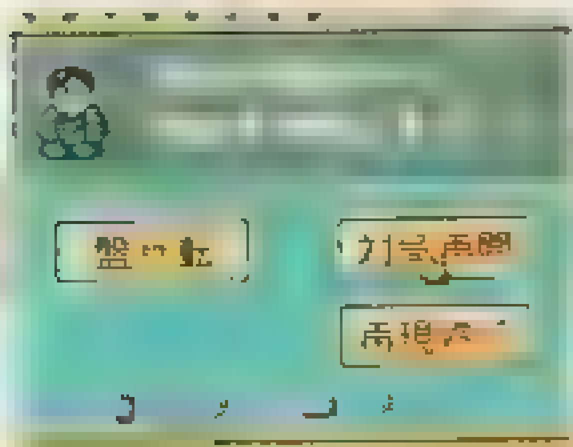


棋譜再現画面

5.「棋譜再現」を選ぶと、左のように保存した時点の盤面が表示され、対局の経過を一手ごとに見ることができます。

● 一手戻る　盤面が一手前に戻ります。
● 一手進む　盤面が一手先に進みます。
● 初手へ　盤面が初手まで戻ります。
● 最終手へ　盤面が保存してある棋譜の最終手まで進みます。

※「棋譜再現」では、保存した棋譜を見直すばかりでなく、好きなところまで手を戻して、指し直すことができます。



「棋譜再現」メニュー画面

6.「棋譜再現」中にSTARTボタン（マウス右ボタン）を押すと、左のような画面になります。
※「棋譜再現画面」に戻るときは、STARTボタン（マウス右ボタン）を押します。

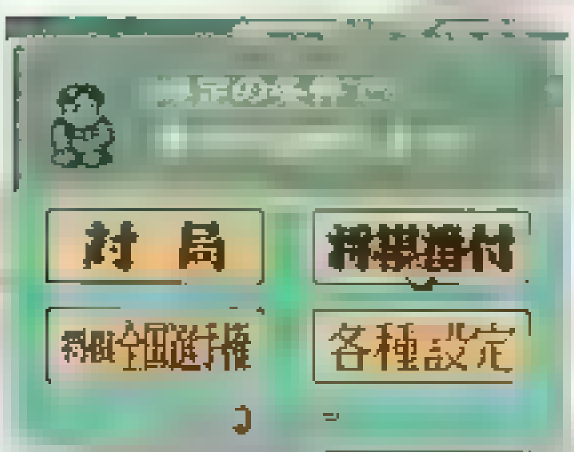
● 盤反転　将棋盤が上下反転し、「棋譜再現画面」に戻ります。
● 対局再開　対局を始めます。
「棋譜再現」で、手を戻したところから始めることができますので、「終局」した棋譜の途中から指し直すことができます。
● 再現終了　「棋譜再現」を終了し、「開始メニュー画面」に戻ります。

将棋番付モード

「将棋番付」モードは、1年春夏秋冬4場所、各5回戦をコンピュータと対局し、1場所の成績が所定の条件を満たしていれば、プレイヤーの番付が昇格、成績が悪ければ降格することもある腕だめしのモードです。

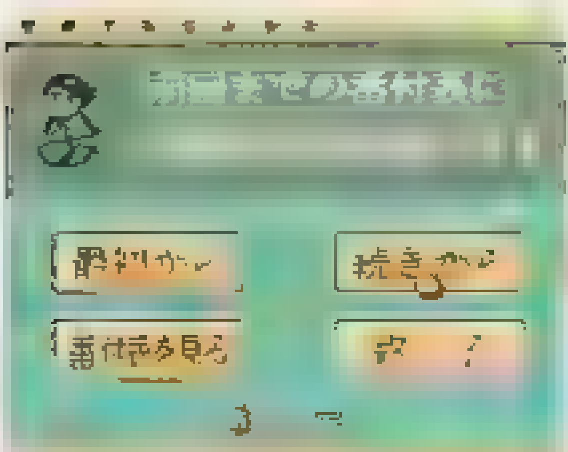
プレイヤーの番付は「序ノ口」から始まり、最高位「横綱」まで7段階あり、高い番付へ行くほど昇格条件は厳しいものになっていきます。

●「将棋番付」モードでは、棋譜の保存はできません。



モード選択画面

1.「モード選択画面」でカーソルを「将棋番付」に合わせ、Aボタン(マウス左ボタン)を押してください。
「将棋番付」モードに入ります。



「将棋番付」開始メニュー画面

2. 続いて、左のような画面になります。
カーソルを合わせ、Aボタン(マウス左ボタン)を押してください。

〈最初から〉………番付表の記録を最初からはじめます。
※番付表の記録がある場合は、記録が消えてしまいますので、ご注意ください。
(21ページへ)

〈続きから〉………番付表に対局記録を追加します。
(21ページへ)

〈番付表を見る〉…番付表を見ます。(24ページへ)

〈終　　了〉………「モード選択画面」に戻ります。

▶「将棋番付」の審査規定

：プレイヤーの番付の昇降格は、番付ごとの審査規定に基づいて、判定されます。

「将棋番付」とは

「将棋番付」は、所定の条件をクリアすることによって、プレイヤーが「序ノ口」から「横綱」まで昇格していくモードです。

- 5回戦(5日)を1場所とし、春夏秋冬の4場所があります。
- 1場所の勝敗成績をもとに昇格、降格の判定をします。
- プレイヤーの番付は「序ノ口」からはじまり1階級ずつ昇格します。
- プレイヤーの番付により、対局の条件、昇格・降格の条件は変わります。

番付審査規定

番付	対局の条件			昇格条件	降格条件
	手合い	プレイヤーの持ち時間・一手制限時間	コンピュータの持ち時間・一手制限時間		
序ノ口	平手	無制限	0分・30秒	3勝以上	なし
十両	平手	無制限	0分・30秒	3勝以上	4敗以上
前頭	平手	30分・40秒	20分・30秒	4勝以上	4敗以上
小結	平手	20分・30秒	30分・30秒	4勝以上	4敗以上
関脇	平手	0分・30秒	無制限	全勝	3敗以上
大関	角落ち	0分・30秒	無制限	全勝 最短勝利手数80手以下	3敗以上
横綱	飛角落ち	0分・30秒	無制限	なし	3敗以上

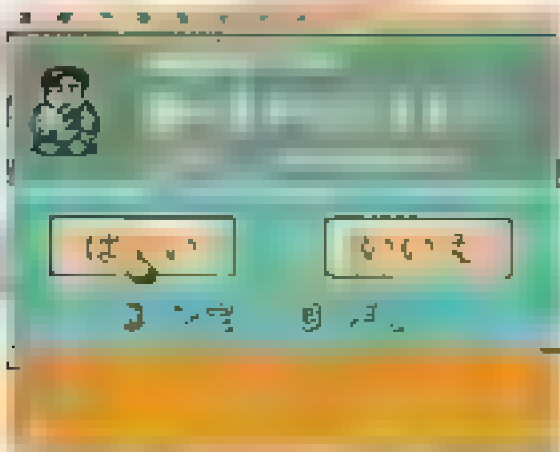
- 平手対局の場合は、先手・後手は任意に定まります。
- 駒落ち対局では、プレイヤーの上手(ハンディをもつ)となります。
- 「引き分け」は1敗として数えます。

※「持ち時間」「一手制限時間」については「対局」モードの「対局条件設定の内容」(12ページ)をご覧ください。

〈最初から〉を選びます

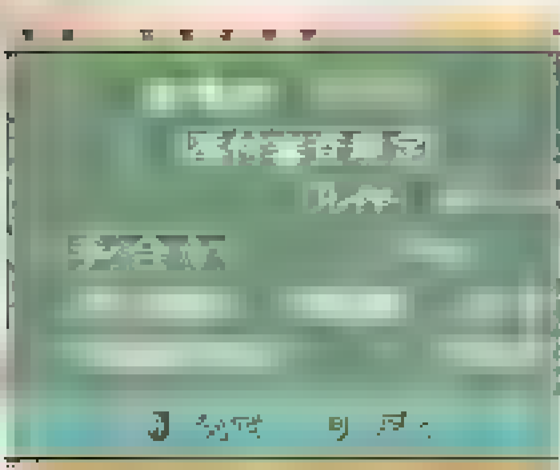
「将棋番付」を最初から始めます。すでに番付を記録している場合は、記録が消えてしまいます。

●「将棋番付」は春場所の1日目から始まります。



記録消去確認画面

1. 左のような画面になります。
「はい」か「いいえ」を選んでAボタン(マウス左ボタン)を押してください。
記録した番付表を消したくない場合は「いいえ」かBボタン(マウス右ボタン)で、「開始メニュー画面」に戻ります。


番付審査規定画面

2. 「はい」を選ぶと「番付審査規定」が表示されます。
Aボタン(マウス左ボタン)を押すと、対局開始です。
※Bボタン(マウス右ボタン)で、「開始メニュー画面」に戻ります。

◆将棋盤での操作：6ページ

〈続きから〉を選びます

「将棋番付」の続きを行います。

「番付審査規定」が表示され、Aボタン(マウス左ボタン)を押すと、対局開始です。
※Bボタン(マウス右ボタン)で、「開始メニュー画面」に戻ります。

▶対局中のメニューについて

「将棋番付」の対局中に「盤反転」「対局再開」「投了」を行います。



対局メニュー画面

対局中（自分の手番のとき）にSTARTボタン（マウス右ボタン）を押すと、「メニュー画面」が表示されます。
目的の項目にカーソルを合わせ、Aボタン（マウス左ボタン）で決定します。

※STARTボタン（マウス右ボタン）で将棋盤に戻ります。

対局メニューの内容

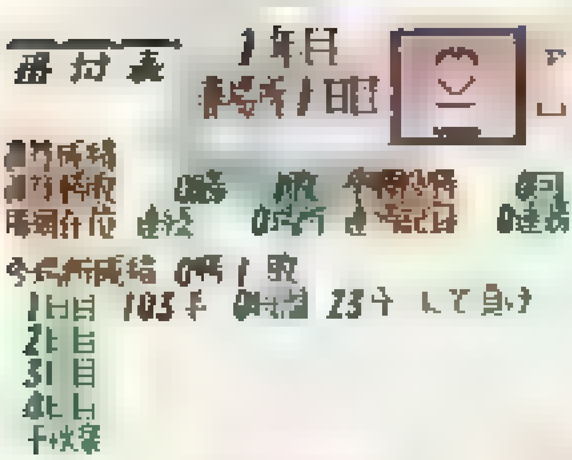
- ●盤反転　盤の向きを上下反対にします。
- ●対局再開　対局へ戻ります。
- ●投了　負けを認めて、対局を終わらせます。

※「将棋番付」モードでは、対局を中断し、棋譜を保存することはできません。

▶対局の終了と感想戦

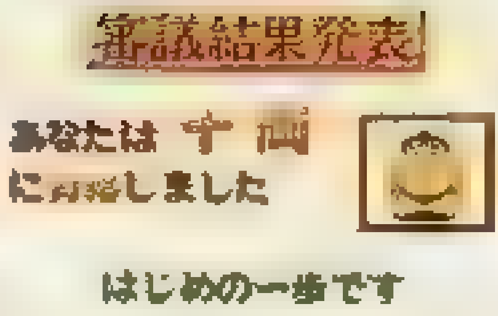
「将棋番付」の対局を終了すると、感想戦をすることができます。

対局の終了



番付表画面

1. 詰み、引き分け、または「対局メニュー」から「投了」を選ぶと、対局は終了となり、続いて左のような番付表が表示されます。A、B、またはSTARTボタン（マウス左、または右ボタン）を押すと、感想戦に移ります。



審議結果発表画面

2. 対局が5回戦目(千秋楽)だった場合、昇格、または降格の条件にあてはまっていれば、番付表に続いて「審議」に入り、昇格、または降格の判定が出ます。
A, B, またはSTARTボタン(マウス左、または右ボタン)を押すと、感想戦に移ります。

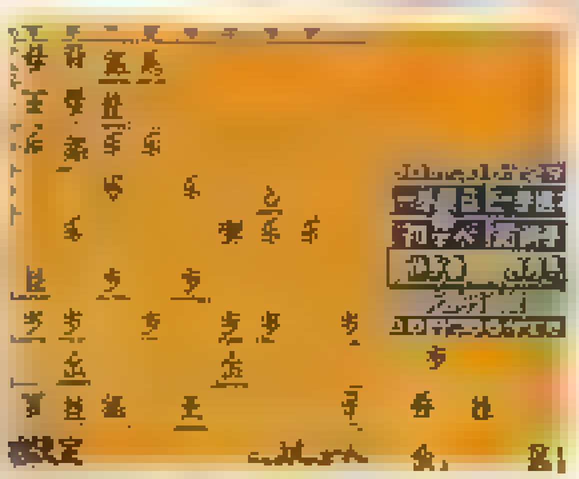
感想戦

感想戦とは、終了した対局の棋譜を再現して見ることができるものです。
ただし、感想戦ができるのは終局した直後のみです。



「感想戦」開始選択画面

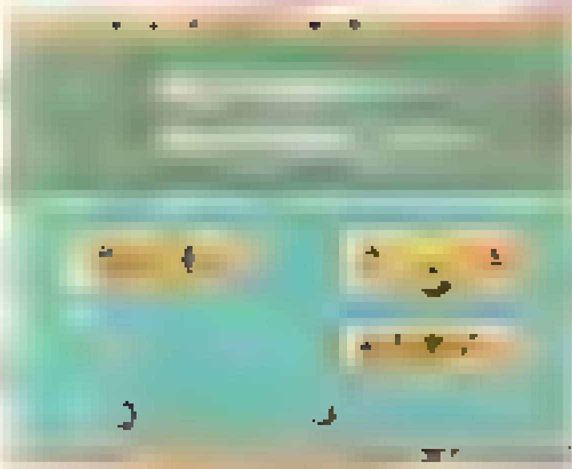
1. 「感想戦を行いますか?」という表示が出ます。
「はい」か「いいえ」を選んでAボタン(マウス左ボタン)を押してください。
「いいえ」を選ぶと開始メニュー画面に戻ります。



感想戦画面

2. 「はい」を選ぶと、感想戦に入り、対局の経過を一手ごとに見ることができます。

- 一手戻る　盤面が一手前に戻ります。
- 一手進む　盤面が一手先に進みます。
- 初手へ　盤面が初手に戻ります。
- 最終手へ　盤面が棋譜の最終手まで進みます。



感想戦メニュー画面

3 感想戦の途中でSTARTボタン(マウス右ボタン)を押すと、左のような画面になります。
※感想戦に戻るときは、STARTボタン(マウス右ボタン)を押します。

● [illegible]　[illegible]感想戦に戻ります。
● [illegible]　感想戦で手を戻したところから対局を再開します。

■さしつぎをした結果は番付には反映されません
■さしつぎから感想戦には戻れません。
■さしつぎ中、STARTボタン(マウス右ボタン)を使って出すメニューは「将棋番付」の対局メニューと同様のものとなります

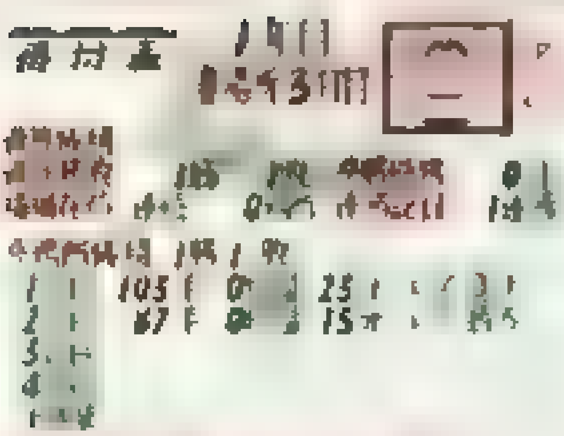
◆「将棋番付」の対局メニュー　22ページ

● 感想戦終了　感想戦を終了して、「開始メニュー画面」に戻ります。

※「将棋番付」モードでは、棋譜の保存はできません。

〈番付表を見る〉を選びます

「番付表」で現在の番付や場所、何日目かなどを確認します。



左のような「番付表」が表示されます。
A, B, またはSTARTボタン(マウス左、または右ボタン)で、「開始メニュー画面」に戻ります。

番付表画面

将棋全国選手権モード

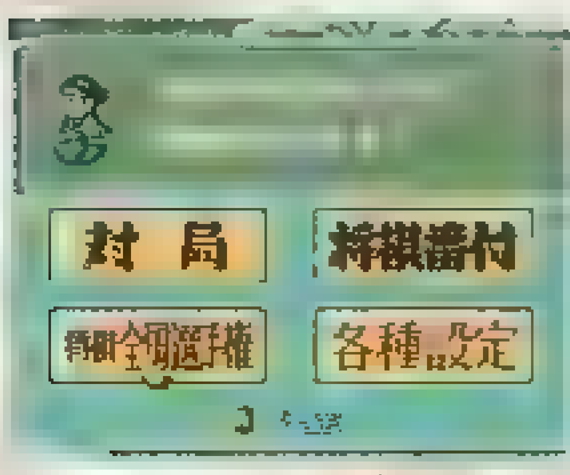
「将棋全国選手権」は、全国47都道府県から地区予選・全国大会を勝ち進み、全国制覇をめざすトーナメント形式のモードです。

プレイヤーはまず出身地を選択して、その地区の予選を勝ち上がり、全国大会へ出場する権利を獲得します。

全国大会では4ブロックに分かれ、準決勝進出をめざします。

対戦する全国の代表選手はそれぞれ得意な戦法を持っていますので、毎回バリエーションに富んだ対局が楽しめます。

- 手合いは平手、時間は無制限、先手・後手は任意に定まります。
- 「引き分け」は負けとみなされます。
- このモードでは、途中経過を記録する場所(データ)が3ヵ所ありますので、並行して3人まで遊ぶことができます。
- 「将棋全国選手権」モードでは、棋譜の保存はできません。



モード選択画面

1. 「モード選択画面」で「将棋全国選手権」にカーソルを合わせ、Aボタン(マウス左ボタン)を押してください。
「将棋全国選手権」モードに入ります。



データ選択画面

2. 続いてデータの選択画面に移ります。
データ1～3のいずれかを選びます。
「終了」を選択すると、「モード選択画面」に戻ります。



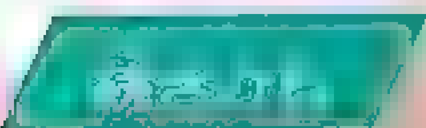
データ継続の選択画面

3. データに途中経過が保存されていると、左のように「最初から」と「続きから」が表示されます。
データに途中経過が保存されていなければ、「将棋全国選手権」の「内容解説画面」に移ります。
カーソルを合わせ、Aボタン（マウス左ボタン）を押してください。

※データを選び直す場合は、Bボタン（マウス右ボタン）を押してください。「データ選択画面」に戻ります。



……データに保存した途中経過を消し、「将棋全国選手権」を最初から始めます。（27ページへ）

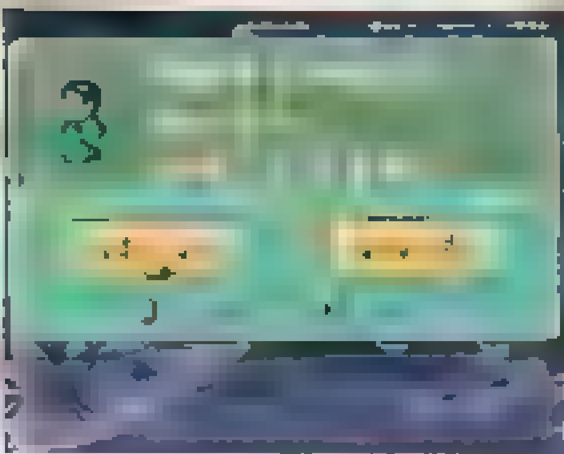


……前回勝ち進んだところから、「将棋全国選手権」を始めます。
（29ページへ）



将棋全国選手権を選びます

「将棋全国選手権」を最初からはじめます。
記録されていた途中経過は消去されます。



記録消去確認画面

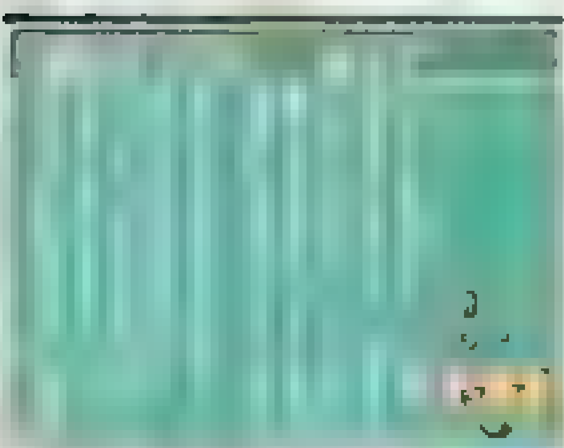
1. 左のような画面になります。
「はい」か「いいえ」を選んで、Aボタン(マウス左ボタン)を押してください。
途中経過の記録を消したくない場合は「いいえ」かBボタン(マウス右ボタン)で、データ継続の選択画面に戻ります。



大会内容解説画面

2. 「はい」を選ぶと「将棋全国選手権」の内容解説画面に移ります。
※選択したデータに途中経過が記録されていない場合は、「データ選択画面」からこの画面に入ります。

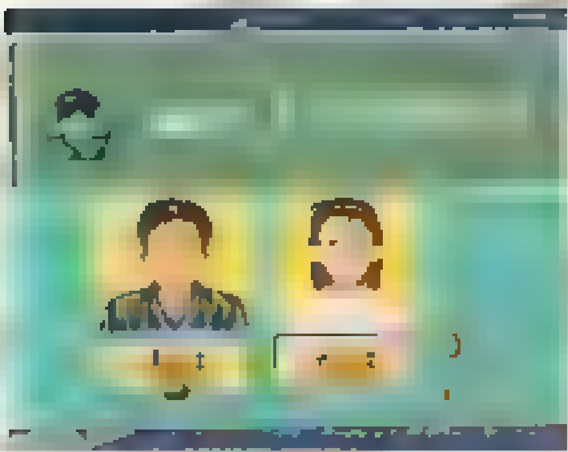
A、B、またはSTARTボタン(マウス左、または右ボタン)を押すと、「名前入力画面」に移ります。



名前入力画面

3. 左のような名前を登録する画面になります。
5文字までで名前を入力してください。
Bボタン(マウス右ボタン)で文字がひとつ消え、入力し直すことができます。
画面右下の「決定」で、名前の入力を終了します。

※1文字も入力していない状態で、Bボタン(マウス右ボタン)を押すと、「データ選択画面」に戻ります。



4. 次に性別を決めます。

「男性」「女性」いずれかにカーソルを合わせ、Aボタン(マウス左ボタン)を押してください。

※Bボタン(マウス右ボタン)で、「名前入力画面」に戻ります。



5. 続いて「都道府県選択画面」に移ります。

✚字ボタンの左右(マウス本体の左右)で、都道府県を選びます。Aボタン(マウス左ボタン)を押すと、その県についての説明画面が表示されます。

※Bボタン(マウス右ボタン)を押すと、「性別選択画面」に戻ります。



6. 都道府県についての説明の下に「決定」と「戻る」が表示されます。

「決定」で「将棋全国選手権」の地区予選が開始されます。

「戻る」かBボタン(マウス右ボタン)で都道府県を選び直すことができます。



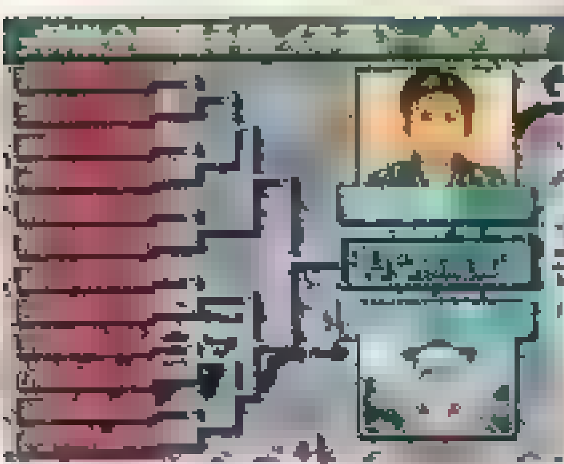
トーナメント表

7. トーナメント表が表示されます。

A、B、またはSTARTボタン(マウス左、または右ボタン)を押すと、対局開始です。

◆将棋盤での操作⇨6ページ

全国大会へ出場



全国大会トーナメント表

1. 全国大会に進むと、左のようなトーナメント表となります。
✚字ボタン(マウス本体)で他のブロックのトーナメント表を見ることができます。
A, B, またはSTARTボタン(マウス左、または右ボタン)を押すと、対戦相手の得意戦法が表示されます。



得意戦法表示画面

2. 左の画面でA, B, またはSTARTボタン(マウス左、または右ボタン)を押すと、対局開始です。

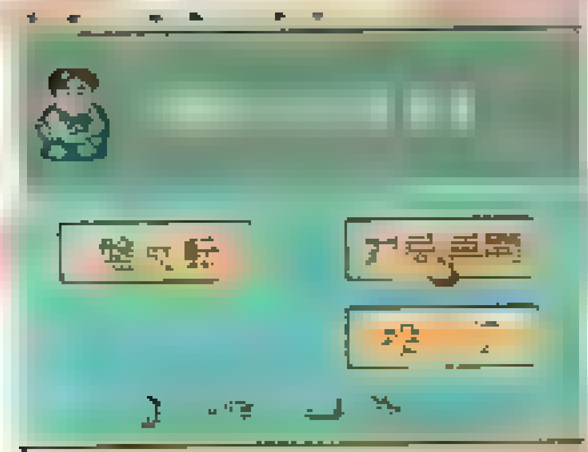
続き対局を選びます

「将棋全国選手権」を再開し、前回勝ち進んだところから対局を始めます。

1. トーナメント表が表示され、A, B, またはSTARTボタン(マウス左、または右ボタン)を押すと対局開始です。
2. 全国大会に進んでいれば、トーナメント表の次に対戦相手の得意戦法が表示されます。
A, B, またはSTARTボタン(マウス左、または右ボタン)を押すと対局開始です。

▶対局中のメニューについて

⇨「将棋全国選手権」の対局中に「盤反転」「対局再開」「投了」を行います。



対局メニュー画面

対局中(自分の手番のとき)にSTARTボタン(マウス右ボタン)を押すと、左のような「メニュー画面」が表示されます。

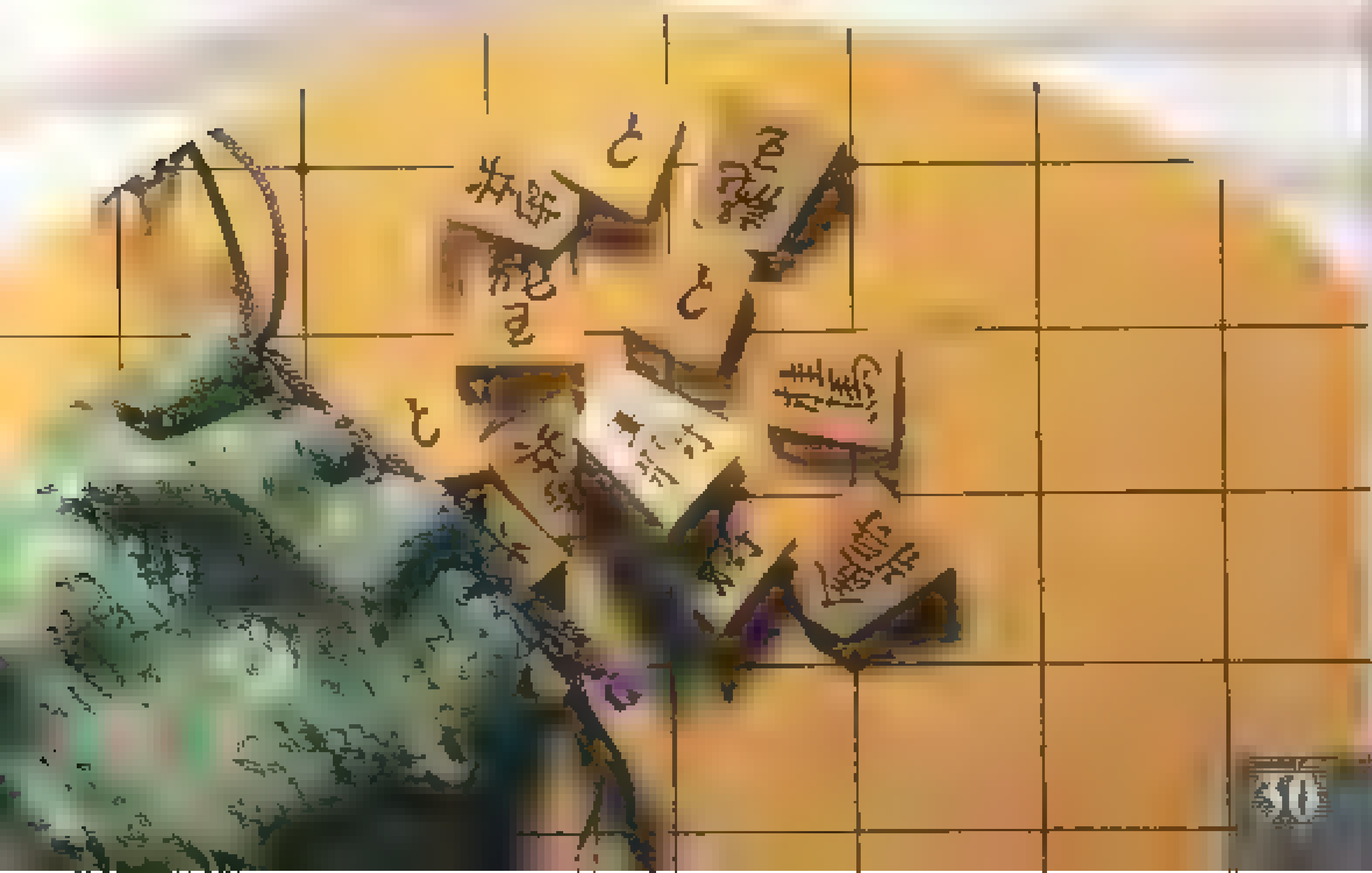
目的の項目にカーソルを合わせ、Aボタン(マウス左ボタン)で決定します。

※STARTボタン(マウス右ボタン)で将棋盤に戻ります。

対局メニューの内容

- ●盤反転　盤の向きを上下反対にします。
- ●対局再開　対局に戻ります。
- ●投了　負けを認めて、対局を終わらせます。

※「将棋全国選手権」モードでは、対局を中断し、棋譜を保存することはできません。



▶対局の終了と続行

「将棋全国選手権」モードの対局を終了したあと、引き続き遊ぶかどうかを選択します。

対局の終了



継続の選択画面

1. 詰み、引き分け、または「対局メニュー」から「投了」を選ぶと対局は終了となります。
   対戦相手に勝つと、続いて左のような画面が表示されます。
   「続ける」「終了」のいずれかを選んで、Aボタン(マウス左ボタン)を押してください。
   「終了」を選ぶと、「モード選択画面」に戻ります。

2. 「続ける」を選ぶとトーナメント表に戻り、次の対戦相手との対局となります。

3. 対戦相手に負けた場合、または引き分けとなると、ゲームオーバーとなり、そこまでの途中経過の記録も消え、次回からは最初から始めることとなります。

4. 全国大会に優勝すると、「将棋全国選手権」モードは終了となり、「モード選択画面」に戻ります。
   データに保存された途中経過の記録は消え、次回同じデータを選ぶと最初から始めることとなります。

※「将棋全国選手権」モードでは、棋譜の保存はできません。

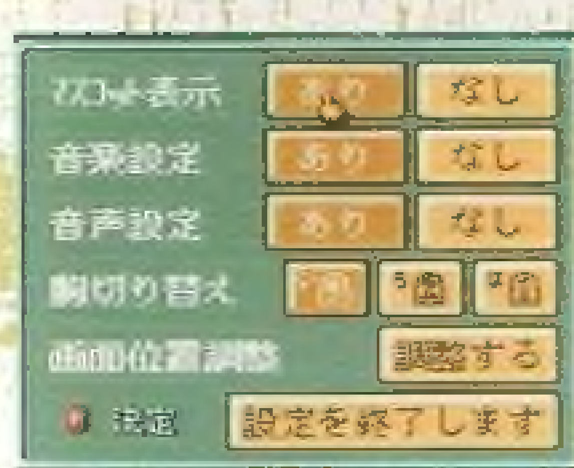
各種設定モード

このモードでは将棋盤についての設定を行います。
設定は「対局」「将棋番付」「将棋全国選手権」の３つのモードで共通となります。
設定した内容はバッテリーバックアップ機能により保存されますので、次にゲームを始めるときに設定し直す必要がありません。



モード選択画面

1.「モード選択画面」で「各種設定」にカーソルを合わせ、Aボタン(マウス左ボタン)を押してください。
「各種設定」モードに入ります。



各種設定画面

2.左のような画面になりますので、目的の項目に合わせてAボタン(マウス左ボタン)で決定してください。
「あり」「なし」とあるものは、いずれかにカーソルを合わせ、Aボタン(マウス左ボタン)で決定してください。

●マスコット表示　コンピュータの思考中に将棋盤の下に表示されるマスコットの「あり」「なし」を選択します。

●音楽設定……ゲーム中、バックに流れる音楽の「あり」「なし」を選択します。

●音声設定　棋譜の読みあげなどの音声の「あり」「なし」を選択します。

●駒切り替え　駒の種類を選択します。
「い」「ろ」「は」のいずれかを選んで、Aボタン(マウス左ボタン)で決定します。

● 画面位置調整



画面位置調整画面
（コントローラの場合）

「調整する」に合わせ、Aボタン（マウス左ボタン）を押すと、左のような画面になります。
✚字ボタン（マウス本体）で、調整し、Aボタン（マウス左ボタン）で決定します。
Bボタン（マウス右ボタン）で調整をせずに「各種設定画面」に戻ります。

3. 設定を終えたら「設定を終了します」にカーソルを合わせ、Aボタン（マウス左ボタン）を押すと、「モード選択画面」に戻ります。

「スーパー将棋2」では

- 「千日手」と両者入玉による「持将棋」は設定されておりません。
- 手数が300手に達すると、それ以上の対局続行はできなくなり、「引き分け」となります。

  ※「将棋番付」モードと「将棋全国選手権」モードでは、「引き分け」は「負け」とみなされます。
- コンピュータとの対局においては、コンピュータが「詰み」があると判定した場合、盤面上ではまだ詰んでいなくても、勝敗の判定が出ることがあります。

駒の動かし方

- 駒を敵陣の中へ進める、または敵陣に打った駒を動かすとき、成ることができます。
- 移動方向に敵の駒があれば、取ることができます。
- **王将・玉将**は、前後左右両斜めのどの方向へも１つずつ動けます。
- **飛車**は、前後左右の方向なら好きなだけ動くことができます。
- **龍王**は飛車の成ったもので、飛車の動きに加え両斜めに１つずつ動けます。
- **角行**は、斜め方向なら好きなだけ動くことができます。
- **龍馬**は角行の成ったもので、角行の動きに加え前後左右に１つずつ動けます。
- **金将**は、前後左右両斜め前方に１つずつ動けます。金将に成りはありません。
- **銀将**は、前と斜め前後に１つずつ動けます。成り銀は銀将が成ったもので、金将と同じ動きをします。
- **桂馬**は、前方に２マス、左右１マスのところへ、途中に駒があっても動けます。成り桂は桂馬の成ったもので、金将と同じ動きをします。
- **香車**は、前進だけなら好きなだけ動けます。成り香は香車の成ったもので、金将と同じ動きをします。
- **歩兵**は、前に１つずつしか動けません。と金は歩兵の成ったもので、金将と同じ動きをします。

以上のほかの将棋のルールや戦法につきましては、市販の専門書などをご参照ください。

保証書

本書は取扱説明書の注意書きに従った正常な使用における故障に対して、無料修理、無料交換をお約束するものです。

お買い上げの月日、氏名、お買い上げ店名のない物は効力を発揮しませんので、購入されましたらすぐに必要事項の記入をお願いします。本書はいかなる場合にも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

保証期間1ヵ年

なお、保証期間を過ぎた場合の修理・交換費用に関しては、お客様負担となりますので、金額に関しては当社までお問い合わせください。

お名前	年齢　　才	男・女
ご住所　〒		
電話番号	(　　　)	
購入年月日		
購入店名	印	

品質には万全を期しておりますが、万一故障、不良などご不審な点がございましたら、下記当社までご連絡ください。

株式会社アイマックス

〒144　東京都大田区西蒲田7-26-11ツキムラビル西蒲田

お問い合せ電話番号 03(3737)2227

SUPER Famicom スーパーファミコンマウス対応

このマークはスーパーファミコン用マウスのマークが表示されている機器、または標準コントローラでご使用可能なソフトであることを示します。